



つくる。つたえる。つなげていく。

SUNMESSE

株 主 の 皆 様 へ

株 主 通 信

第71期【中間期】 平成27年4月1日～平成27年9月30日



Sun Messe

サンメッセ株式会社



時代の変化に対 これからも企業

代表取締役社長

田中 義一

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第71期上半期の業績につきましては、売上高73億23百万円、営業損失1億58百万円、経常損失73百万円、親会社株主に帰属する当期純損失37百万円となりました。ペーパーレス化の進展に伴う需要の減少や、受注競争の激化による受注単価の下落、また、原材料価格の上昇など厳しい経営環境が続いており、当中間期においては大変残念な結果となりました。印刷業界は下半期に業績を押し上げる傾向にあります。売上の向上はもとより、利益改善にもしっかり取り組み、期末の黒字化に向け社員一丸となって鋭意努力してまいります。

企業価値・利益の向上を目指し、 「進化」に向けて前進してまいります

当社では昨年より「IPS事業」、「パッケージ事業」、「ICT事業」、「コーポレート・コミュニケーション事業」の4つの事業を中長期的な新たな成長戦略の軸として推進しております。それぞれの事業におけるエキスパートが、お客様にとって付加価値の高いソリューション型営業を展開し、さらなる利益の創出を目指しております。

この4つの事業をはじめとする当社の最新技術や設備について、お客様にご覧いただく『サンメッセ情報技術展』を

応し、常に「進化」を続けることで、 価値向上に取り組んでまいります。

本年も開催させていただきました。ご来社いただいたお客様から、従来までの印刷の領域を超えた様々な取り組みに対する驚きなどの声をお聞きし、進化を続ける当社の一端をアピールできたと自負しております。新たな事業においては、まだまだ満足できる進捗状況ではありませんが、着実に成果が表れてきており、日々の積み重ねが大切だと感じております。引き続き、前期リリースしました新・中期経営計画「VISION 2016」の目標達成に向け、より一層の新規事業の拡販に注力してまいります。

さて、今期、品質と生産性のさらなる向上を図るべく、ハイブリッドUV印刷機を新規導入いたしました。最先端の機能を活かしながら、これからも高品質な製品をより早くお客様にお届けできるよう継続して取り組んでまいります。

【P6にて詳細をご紹介します。】

同時に、設備機器といったハード面での拡充とともに、新卒採用や新たな教育プログラムによる人材教育、政府の推進する女性が活躍できる職場環境の整備などにも積極的取り組み、ソフト面での強化・充実にも注力しております。

デジタル化への転換をはじめ、印刷業界においても経営環境が大きく様変わりしました。新たな事業分野への挑戦、

時代に呼応した経営姿勢を意識し、絶えず前進してまいりたいと考えております。

創業からの経営理念を受け継ぎ、 皆様に貢献できる企業を目指してまいります

本年、当社は創業80周年の節目を迎えることができました。これもひとえに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援があつてのことと心より感謝しております。

当社は創業以来、「お客様第一主義」を掲げ事業を成長させてまいりました。創業者から受け継ぐ「人のために尽くす」という信念を大切に、地域社会やステークホルダーの皆様にご貢献できる企業であり続けたいと、あらためて感じております。これからも「一社責任体制による社内一貫生産」という当社の強みを活かして進化を果たしてまいります。

今後とも、ステークホルダーの皆様にご愛され、社会にご貢献しながら、持続的に発展できる企業であり続けるため、社員全員で取り組んでまいりますので、株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

歴史で辿る、サンメッセグループ価値創造の80年

2015年、当社は創業80周年を迎えました。挑戦と革新を続ける、80年の進化の歩みをご紹介します。



1935
昭和10年

田中印刷所創業



1975
昭和50年
タウン情報
「ぎふ」創刊



1984
昭和59年

イメージ・プロセッシング
システムを導入し、
製版工程をデジタル化



1988
昭和63年

「ぎふ・中部未来博」で
配布する「日刊・未来博
ニュース」にて
初のDTPシステム導入



1971
昭和46年

東海地方初の東芝ATF
両面8色オフセット
輪転機導入

1985
昭和60年

東京支店を開設



1989
平成元年

関係会社
日本イベント企画(株)を
設立

数字で見るサンメッセの進化

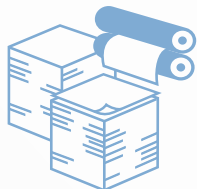


従業員数

昭和22年度
※最も古い記録 **10人**

平成26年度 **941人**

※嘱託・パートを含む連結人数



年間印刷通し枚数(オフ輪)

平成14年度
※最も古い記録 **約3.1億枚**

平成26年度 **約8.2億枚**

【売上高の推移】※1

売上高(百万円)



※1. 創業から1959年度までは正確な記録がないため記載しておりません。



つくる。つたえる。つなげていく。



1990

平成2年

Sun Messe

田中印刷興業(株)を中心に
関連会社4社を統合し、
新社名をサンメッセ株式会社と
改称



2001
平成13年

ISO14001認証取得

2003
平成15年

プライバシーマーク
付与認定

2004
平成16年

第3回印刷産業環境優良工場
表彰において、本社工場が
経済産業大臣賞を受賞



2009
平成21年

UV印刷機導入

2011
平成23年

オールサンメッセ
品質マネジメント
システム始動

2013
平成25年

教育用アプリを
開発・販売



1995
平成7年

株式を
店頭公開

1997
平成9年

当社ホーム
ページを公開

1999
平成11年

本社・本社工場を新築



2007
平成19年

FSC®/CoC森林
認証取得

2008
平成20年

「サンメッセIPS※
システム」を構築

※IPS…Information Processing Service

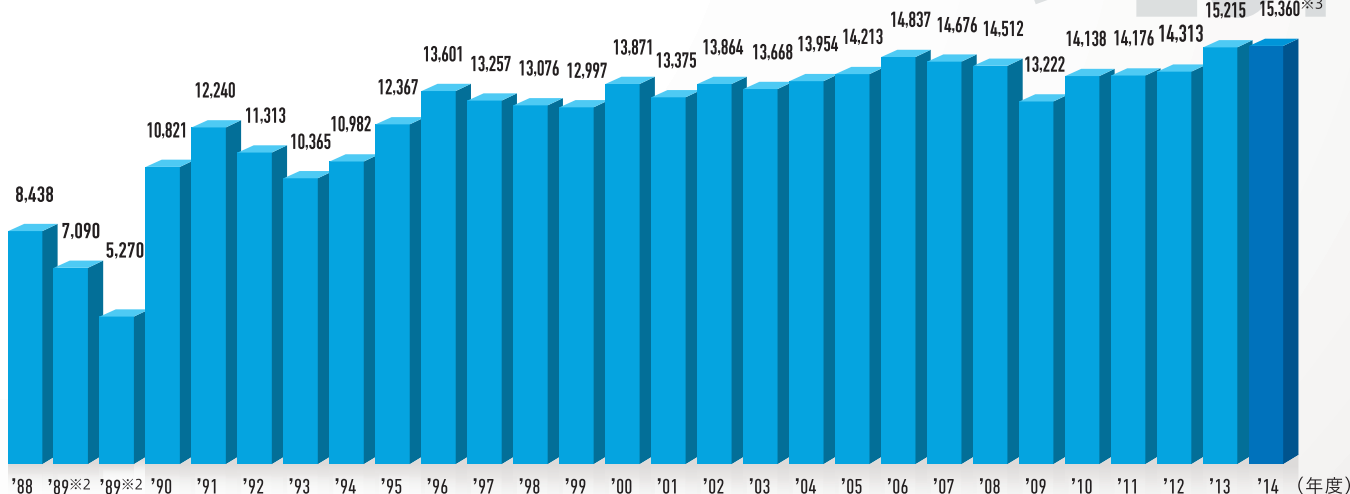


2012
平成24年

タイに合併会社
Sun Messe(Thailand) Co., Ltd.を
設立

2015
平成27年

- 第11回LCA日本
フォーラム表彰に
おいて奨励賞を受賞
- 創業80周年
- ハイブリッド
UV印刷機導入



※2. 1989年は決算期の変更に伴い9カ月決算、
6カ月決算にて計上しており、グラフを並列表記としています。

※3. 2013年度以前は単体、2014年度は連結の数値です。

経営の効率化と公平性・透明性の実現に向け、 監査等委員会設置会社に移行いたしました。

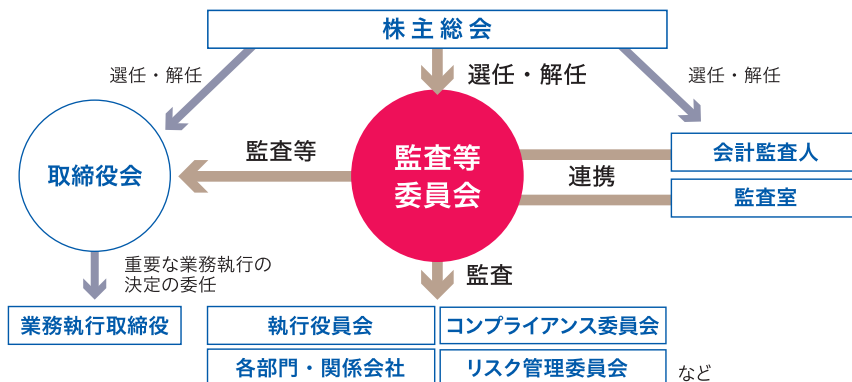
01

2015年6月25日、第70回定時株主総会の決議を受け、当社は監査等委員会設置会社へと移行いたしました。

監査等委員会とは、自ら業務執行をしない監査等委員である取締役(複数の社外取締役を含む)に、取締役会における議決権を付与することで、監査・監督機能のより一層の強化を図ることを目的とした機関です。今回、社外取締役の

比率を高めることで、客観的な監査の実施とともに、重要な業務執行の決定の全部または一部を取締役へ委任することができる体制となりました。

これらを通じて、取締役会における迅速かつ柔軟な意思決定を実現し、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を図ってまいります。



取締役(監査等委員)
松井 巖

6月25日に開催いたしました第70回定時株主総会にて、監査等委員を拝命いたしました。従来までの監査役と異なり、任期は2年間となります。また最大の違いと言えるのが、監査だけでなく「監督」の役割も担うことと、取締役会での議決権を持つということです。

企業価値の向上という点においてコーポレート・ガバナンスの重要性が注目される中、監査等委員会の意義や重要度は今後ますます高まってくると考えています。責任は重大ですが、当社のさらなる発展を見据えたコーポレート・ガバナンスの充実に向け、労を惜しまず日々努めてまいります。

さらなる生産性の向上・売上の拡大を目指し、 ハイブリッドUV印刷機を導入いたしました。

02

お客様の多様なご要望にお応えしながら売上の拡大を図るべく、この度本社工場に(株)小森コーポレーション製の菊全判8色反転機能付きオフセット枚葉印刷機「リスロンGL-840P」(通称:ハイブリッドUV印刷機)を新規導入いたしました。

今回導入のハイブリッドUV印刷機は、UV印刷の最大の特長である瞬時速乾によるリードタイムの大幅な削減に加え、様々な検査機能による品質の安定化で、高品質かつ効率的な製品の生産を実現できることが特徴です。

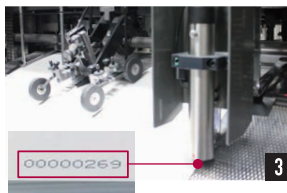
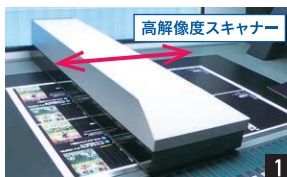
検査機能として、印刷の本刷り前に校了時のPDFデータと絵柄等を照合することで、製版ミスや版傷などを事前に発見できるほか、印刷時には、2台の検査カメラで全数を検査し、

良品と不良品を検知して自動で不良品を排除するダブルデリバリーシステムを搭載。色の濃度変化も同時に検知し自動で補正を行います。また、ナンバリングシステムにより、万一の不良発生時にも効率的な追跡調査が可能になりました。

環境面にも優れており、通常のUV乾燥システムと比べ、CO₂排出量が約1/4のほか、従来のUVランプの短波長側をカットすることで、オゾンの発生を抑制します。裏移り防止のためのパウダーも不使用のため、様々な面において環境にやさしいクリーンな印刷機です。

同機を活用し、高品質で短納期が求められる商業印刷物や出版印刷物等、お客様のニーズに合わせた多種多様な印刷物に対応してまいります。

高品質を保証する最先端機能



- 1 本刷り前の校了PDFデータとの照合で検査精度アップ
- 2 良品と不良品を自動で選別するダブルデリバリーシステム
- 3 トレーサビリティがとれるナンバリングシステム



▶「サンメッセ統合レポート2015」を発行



平成27年10月、当社の財務情報及びESG情報を総合的に開示する「サンメッセ統合レポート2015」を発行いたしました。

統合報告書として3度目の発行となる今回のレポートでは、グローバルスタンダードになりつつあるIIRC(国際統合報告協議会)統合報告フレームワークを意識し、さらにレベルアップしたレポートの作成を目指しました。当社にとって重要性が高い事項や、社会からの関心度が高い事項に掲載を絞り、従来に比べコンパクトな内容とすることで、読みやすく、当社に対するご理解を深めていただくことを主眼に企画・制作いたしました。

特集として、社内でのワークショップを経て特定、抽出を行った「当社の重要課題(マテリアリティ)」について掲載いたしました。

また冊子全体を通じて、当社の課題に対するビジョンや事業戦略、具体的な取り組みに至るまで、一貫性のあるレポートとなるように意図するなど、当社らしさをステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えするレポートとなりました。

▶日本イベント企画(株)と当社システム開発課を移転

平成27年8月、関係会社・日本イベント企画(株)と、当社システム開発課が事業拠点を移転いたしました。

日本イベント企画(株)は、創業以来27年間にわたり事業を続けてきた当社岐阜支店3階から、大垣市のソフトピアジャパンエリアに位置するサンメッセ情報館へ移転いたしました。ソフトピアジャパンは、様々なICT関連企業が集まるエリアであることから、最先端の技術を有する企業との融合による新たなイベント事業の推進、拡大が期待されます。

また、日本イベント企画(株)の移転に伴い、サンメッセ情報館を拠点としていた当社システム開発課が本社に移転いたしました。今回の移転により、社内外のシステムサポートや機器のメンテナンス対応などが迅速に行えるようになりました。さらに、これを機にサーバーも移転したことで、お客様の大切なデータや当社の基幹システムに対するリスクマネジメントも強化いたしました。



本社に統合したシステム開発課



日本イベント企画(株)

▶「サンメッセ情報技術展2015」を開催

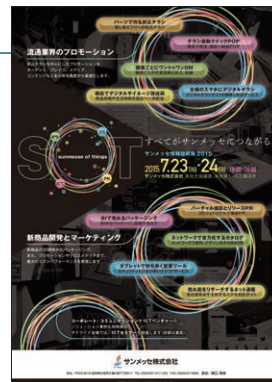
平成27年7月23日・24日の2日間にわたり「サンメッセ情報技術展2015」を開催いたしました。本展示会は、お客様に当社の最新技術に直接触れていただく機会として、本社及び本社工場を会場に毎年開催しているもので、今年は、当社の最新技術を活用した新たなビジネスモデルのご提案を中心に開催いたしました。

今回のテーマとして「SOT(sunmesse of things)～すべてがサンメッセにつながる。～」を掲げ、当社が推進する新たな4つの事業の最新動向に関するご紹介のほか、チラシ媒体における「流通業界のプロモーション」と、商品カタログやパッケージ、販促ツールなどの媒体における「新商品開発とマーケティング」をテーマにした新たなビジネスモデルについて、事例展示を交えながらプレゼンテーションいたしました。また、最新のICT技術の活用方法などを学ぶセミナーや、動いた人やものに反応して投影映像が変化するインタラクティブなプロジェクションマッピングを特設展示するなど、当社が関わる先端技術もPRいたしました。



事例を交えながら当社技術を紹介

印刷分野にとどまらず、日々進化を続ける当社の先進技術や総合力をお客様にアピールし、ご理解を深めていただく場となりました。



▶当社のアスリートが各大会で活躍

平成27年4月～9月にかけて日本各地で行われたスポーツ競技会において、当社社員が優秀な成績を収めました。

当社野球部は、「第38回岐阜県軟式野球A級選抜強化リーグ戦大会」で初優勝いたしました。同大会では、中島奨梧が大会最優秀選手賞を獲得するなど、チーム、個人ともに創部以来初の快挙を果たし、当社の知名度アップに貢献いたしました。

また、アーチェリー部も昨年に引き続き数々の好成績を収めています。佐々木和真が「東海社会人アーチェリー大会」における大会3連覇を果たし、団体でも優勝をするなど各大会で活躍を見せました。

さらに、陸上部の岩船陽一が「第59回中部実業団対抗陸上競技大会」に出場し、110mハードルで優勝いたしました。

当社では社員の積極的なスポーツ参加支援を行っており、今後もこれらの活動を通じて、地域のスポーツ振興と当社の活性化に努めてまいります。



初の快挙を果たした野球部



各大会で活躍したアーチェリー部

陸上部の岩船陽一

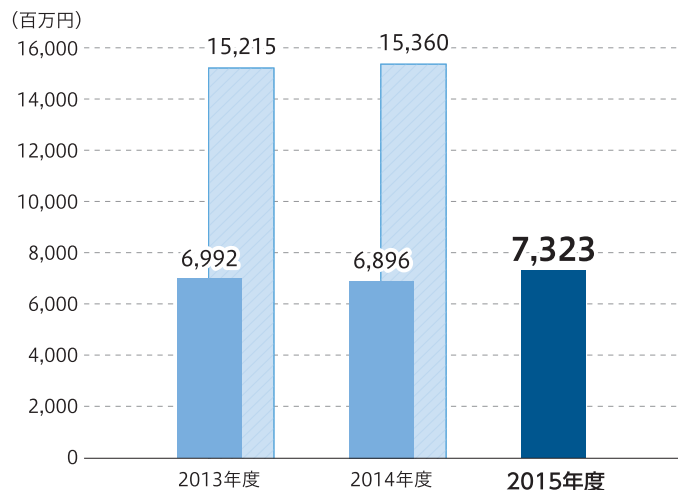
業績のご報告〔連結〕

財務ハイライト

(注)2013年度は単体の数値です。

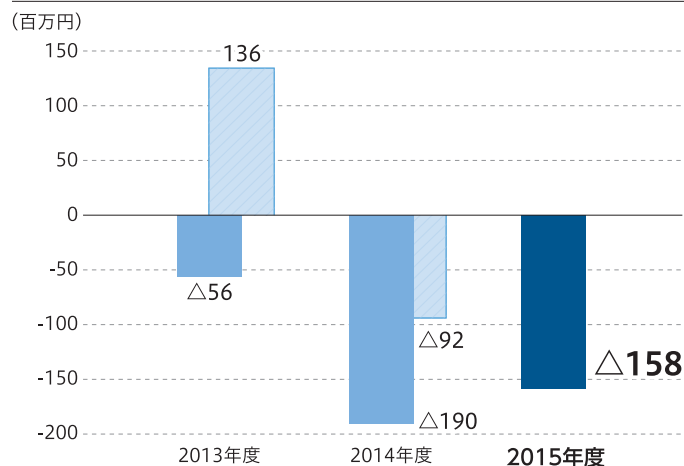
■ 上半期 ■ 通期

●売上高



印刷事業においては、包装紙・袋物などの微減により包装印刷物は減収となりましたが、一般商業印刷物は、主力製品であるカタログや、会報などの定期刊行物の増加により増収となり、出版印刷物も増収となりました。また、イベント事業でも大型イベントの開催などにより増収となり、グループ全体でも増収となりました。

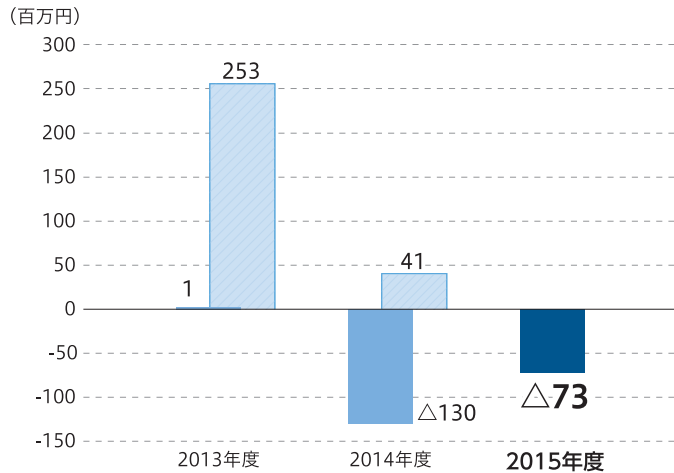
●営業利益(損失)



売上高が増収となったことなどにより売上総利益が増益となったため、損失が減少しました。

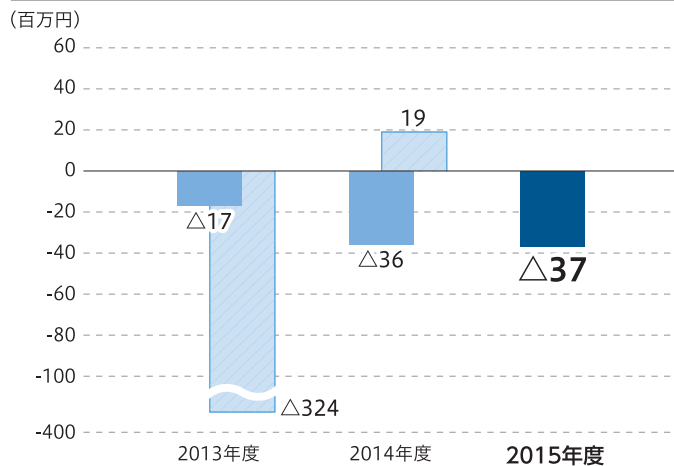
(注)2013年度は単体の数値です。

●経常利益(損失)



売上高が増収となったことなどにより売上総利益が増益となったことや、保険解約返戻金などの計上などにより、損失が減少しました。

●親会社株主に帰属する当期純利益(損失)



投資有価証券売却益が減少したことなどにより若干損失が増加しました。

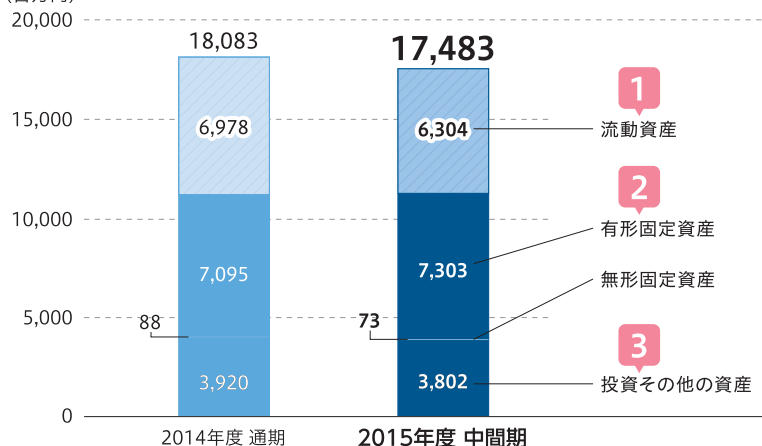
連結財務諸表

連結貸借対照表

2014年度:3月31日現在, 2015年度:9月30日現在

●資産の部

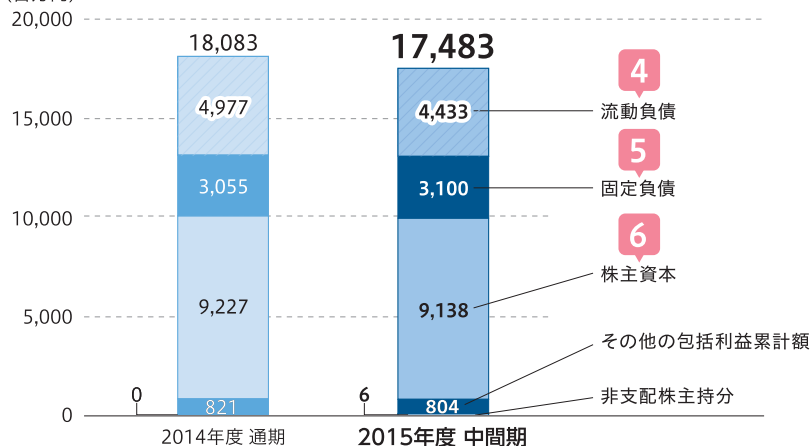
(百万円)



- 1 流動資産**
現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより減少しました。
- 2 有形固定資産**
機械装置及び運搬具が増加したことなどにより増加しました。
- 3 投資その他の資産**
投資有価証券が減少したことなどにより減少しました。

●負債・純資産の部

(百万円)

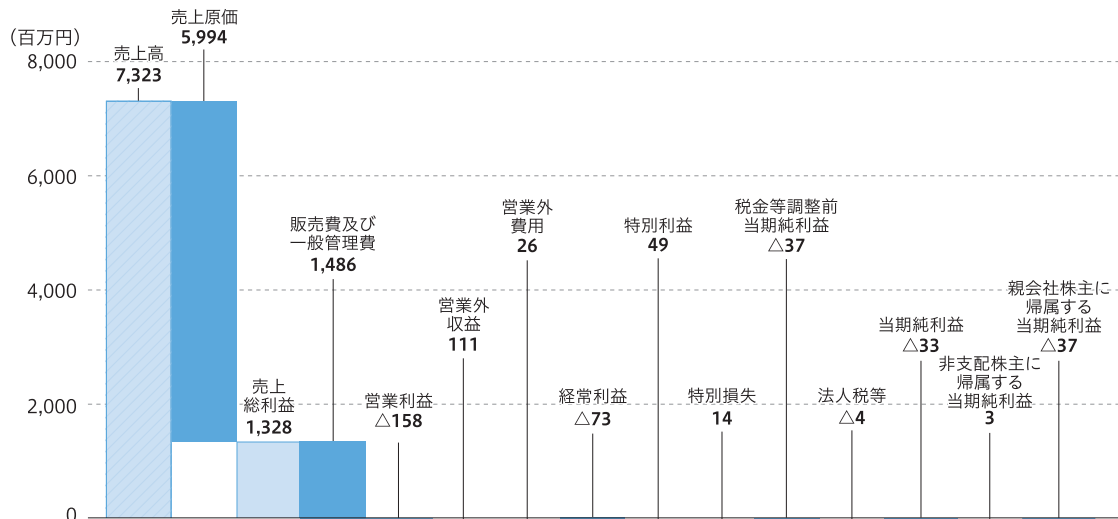


- 4 流動負債**
支払手形及び買掛金や短期借入金の減少などにより減少しました。
- 5 固定負債**
退職給付に係る負債の増加などにより増加しました。
- 6 株主資本**
利益剰余金の減少により減少しました。

※株主資本、その他の包括利益累計額、非支配株主持分を合わせて純資産となります。

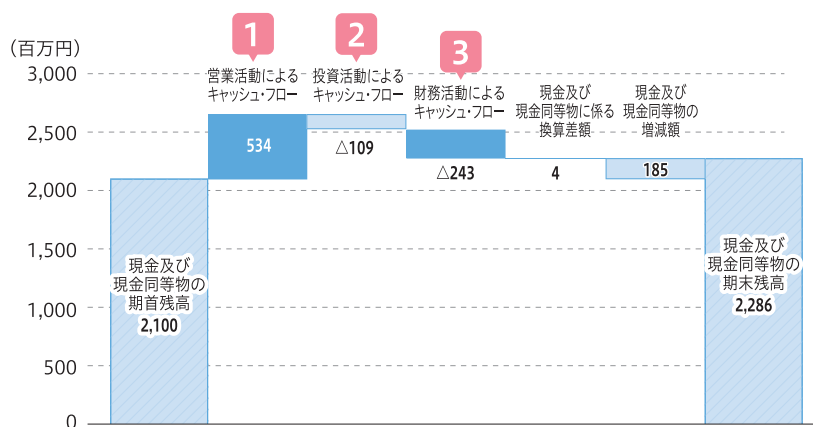
連結損益計算書

2015年4月1日～2015年9月30日



連結キャッシュ・フロー計算書

2015年4月1日～2015年9月30日



1 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費の計上や売上債権が減少したため、資金が増加しました。

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出などにより、資金が減少しました。

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出や長期借入金の返済による支出などにより、資金が減少しました。

株式の情報

株式の状況（平成27年9月30日現在）

発行可能株式総数

60,000,000株

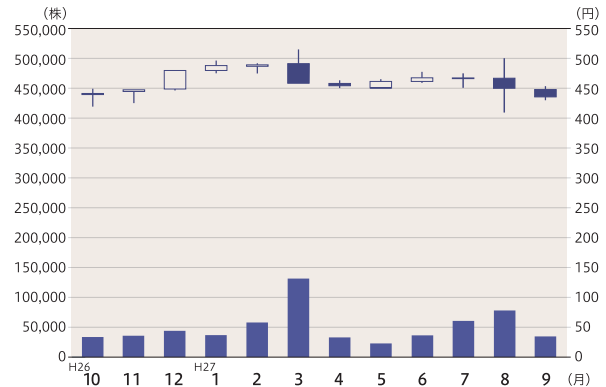
発行済株式の総数

17,825,050株

株主数

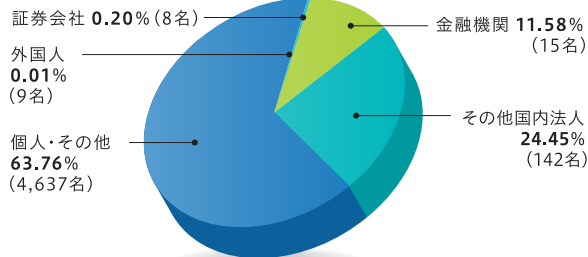
4,811名

株価推移

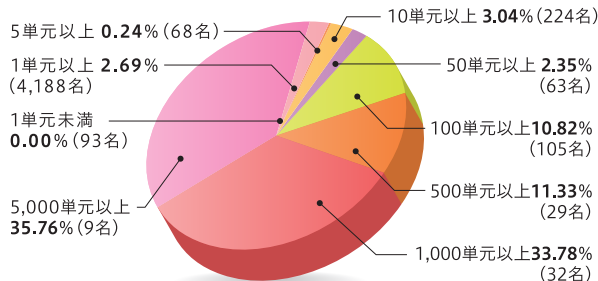


株式分布状況（注）比率は小数点以下第三位を四捨五入しております

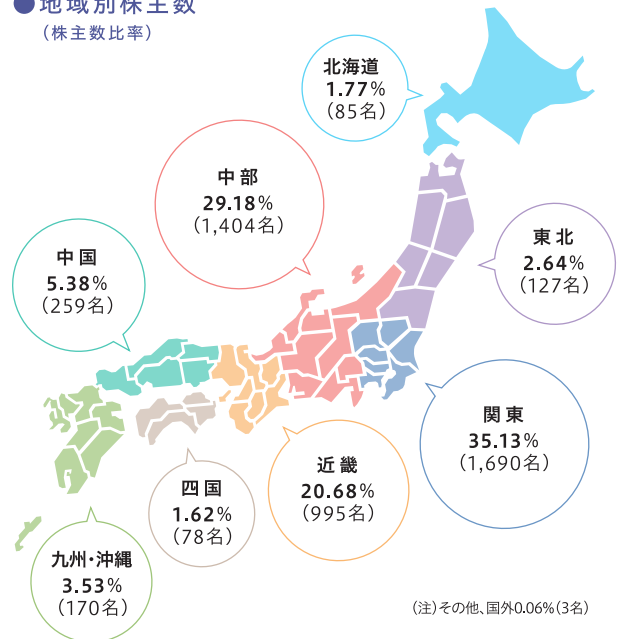
●所有者別株式分布状況（株式数比率）



●所有数別株式分布状況（株式数比率）



●地域別株主数（株主数比率）



会社の概況

会社概要（平成27年9月30日現在）

商 号	サンメッセ株式会社
設 立	昭和21年9月20日
資 本 金	1,236,114千円
従 業 員 数	737名(連結750名) ※嘱託、パートは含まれておりません。

● 主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。
企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

● 本社および事業所（平成27年9月30日現在）

本 社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支 店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中央区) 名古屋支店(名古屋市中区) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市)
営 業 所	津営業所(三重県津市) 滋賀営業所(滋賀県彦根市) 京都営業所(京都市下京区) 岡崎営業所(愛知県岡崎市)
工 場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
関 係 会 社	日本イベント企画株式会社(岐阜県大垣市) サンメッセタイランド株式会社(タイ王国バンコク市)

● 役 員（平成27年9月30日現在）

取締役会長	※ 田 中 良 幸
取締役副会長	※ 田 中 勝 英
取締役社長	※ 田 中 義 一
取締役	田 中 尚 一 郎
取締役	水 谷 和 則
取締役	今 井 稔
取締役	伊 東 寛
取締役	長 井 芳 郎
取締役	竹 林 啓 路
取締役	橋 本 勝 之 司
取締役	千 代 耕 臣
取締役	衣 斐 輝 之
取締役	由 良 直 蔵
取締役(監査等委員)	松 井 巖
取締役(監査等委員)	長 屋 英 機
取締役(監査等委員)	石 岡 秀 夫

(注) ※は、代表取締役であります。
松井巖氏は、常勤の監査等委員であります。
長屋英機および石岡秀夫の両氏は、社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス http://www.sunmesse.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

[お知らせ]

■ 株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手續(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■ 配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手續きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
IR情報（投資家様向け情報）やCSR等の取り組みを詳細に紹介した統合レポート2015（WEB版）にも、
ダイレクトにアクセスいただけますので、どうぞご利用下さい。

IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/>



統合レポート2015サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/report/>



株主優待について

毎年3月末日現在の当社株主名簿に、記載または記録された100株以上保有の株主様を対象に、年1回一律1,000円分のクオカードを贈呈しています。

当社オリジナル
クオカード



※写真はイメージです。



人物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



1部あたり



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
CR-DD01-15013

CFP値は水なし印刷の算定に
特化したCFP-PCRにより算定



環境にやさしい植物油
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。